

広大な雪原で心地よい汗

第29回県民歩くスキーのつどい

第29回県民歩くスキーのつどいが2月22日、県立北欧の杜公園で開催され、幼児から70代まで約300人が大野台の広大な雪原で歩くスキーを楽しみました。つどいは冬季の体力向上とともに自然とのふれあい、世代間交流が目的。参加者は、自分の体力に合わせ、1、3、5、8キロのコースにチャレンジ、周囲の自然を鑑賞しながらゴールを目指しました。



広報 [No.95]

きたあきた



[1日.16日 月2回発行]

2009年